

県民の皆様へ

現在の県内の新型コロナウイルス感染症の状況は、先週頃から顕著に拡大し、12月20日発表分の新規陽性者数は、過去最多の1,777人となり、第7波のピーク（8月16日：1,620人）を超えました。

医療従事者の欠勤等を考慮した即応病床使用率は、12月21日24時時点で57.0%となっており、医療提供体制への負荷が蓄積し始めています。

現時点で、帰省や旅行等の自粛をお願いすることはありませんが、年末年始の連休を控え、高齢のご親族と接する機会が多くなりますので、帰省の前には、積極的に検査を受けていただくようお願いいたします。

（新型コロナ抗原検査キットによる自己検査等）

県では、医療機関や医師会等の関係者の皆様のご協力のもと、外来診療体制の強化を進めているところですが、先ほどお話ししたとおり、県内では感染拡大が続いており、今後さらに医療への負荷が高まることや、年末年始期間中は休診となる医療機関が多いことから、発熱等の患者さんが多くなりますと、医療機関にかかりにくくなるおそれがあります。

県では、12月9日から、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが低く、症状が軽い場合で、抗原検査キットによる自己検査で陽性となった方は、医療機関を受診することなく、しまね陽性者登録センターでの登録を可能とする取り扱いを行っています。

こうした取り扱いは、発熱外来等のひっ迫を避け、重症化リスクの高い方を守ることに繋がりますので、年末年始に向けては、症状のある方でも、重症化リスクが低く、症状が軽い場合で、可能な方は、抗原検査キットによる自己検査をお願いします。

また、ご家庭においても、年末年始に向け、発熱等の体調不良への備えとして、抗原検査キット（一般用または医療用）や解熱鎮痛薬、生活必需品なども早めに準備していただくようお願いいたします。

なお、感染に不安を感じ、検査を希望する無症状の方は、県内の無料検査所で検査を受けていただくようお願いします。

(オミクロン株に対応したワクチンの接種)

県内の感染状況をみますと、18歳以下、30代、40代の感染が多くなっています。これらの年代のワクチン接種率は、高齢者の世代と比較して低い状況にあります。

オミクロン株対応ワクチンは、その接種により、重症化予防、感染予防及び発症予防の効果が期待できるとされています。

重症化リスクの高い高齢者はもとより、若い方においても、ワクチン接種が可能で、市町村から接種券が届いている方には、早めの接種を検討していただくようお願いします。

(基本的な感染対策の徹底等)

これから年末年始を迎え、帰省や旅行等で移動される方が多くなりますが、県民の皆様には、引き続き「三つの密」の回避、手洗いなどの手指衛生に加えて、こまめに換気するなど、基本的な感染対策を徹底していただきますようお願いします。

令和4年12月22日

島根県知事 丸山達也